

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

単施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

※赤字 注意事項 提出時は削除して下さい。

※青字 例文 適切なものを選択し、必要に応じ、研究に合わせて修正して下さい。

以下、本文-----

FIMの目標と実際が解離する項目に関する研究

1. 研究の対象

2018年4月から2019年2月までに回復期リハビリテーション病棟においてリハビリテーションを受けた方

2. 研究目的・方法

回復期リハビリテーション病棟では、ADLの改善と在宅復帰が求められています。これらを実現するには、ADLの目標を定め、これをご本人と共有し、目標指向型にリハビリテーションを提供することが重要であると考えます。当院では、回復期リハビリテーション病棟入棟時に多職種協働で現状のADLと退棟時の目標とするADLをリハビリテーション総合実施計画書に記載し、ご本人、ご家族へ説明させていただいています。これをもとに在宅復帰するか否か判断するご家族も少なくないため、この目標には妥当性も求められると考えます。しかしながら、実際の運用において、目標と退棟時のADLに乖離がおこる経験をすることが少なくありません。

今回、目標としたADLと実際の退棟時のADLについて、乖離する特徴を調査し、検討します。リハビリテーション科では、リハビリテーションの開始時と終了時にリハビリテーション担当者が身体機能評価や生活状況の評価を行っています。また、目標とするADLに関しては、ご本人、ご家族にリハビリテーション総合実施計画書を用いて説明させていただいています。今回の調査には、これらのデータを用います。方法は、目標と実際のADLに関するデータを比較します。

これらの研究は、2019年4月～2019年12月の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報、生活状況の情報 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 リハビリテーション科

研究責任者 岩井知太

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L : 0270-27-8813 F A X : 0270-24-3359

-----以上